

## 子飼スクランブル交差点について

令和6年11月4日

碩台・黒髪校区自治協議会

日本で初めてのスクランブル交差点記念碑公開に当たり、地域を代表しまして、皆様方もよくご承知でそしてご利用されている“スクランブル交差点”について補足をさせていただきます。

子飼交差点の現状と経過です、現在の県道337号は江戸時代に肥後国熊本から豊後国大分へ向かう大津街道として交通の要所です、熊本城からの道しるべとして一里木、2里木、3里木と1里毎の目印に杉の木が植えられてました。昭和初期から国道が設定され大分から熊本そして島原を結ぶ国道となりました、そこに国道3号線が昭和43年に京町台から山室～浄行寺～水道町が開通して車社会へと向かいました、交通量は浄行寺交差点、子飼交差点ともに増えてきました、交通渋滞の緩和としてとうとう水道町～子飼までの市電が昭和47年に廃止されました。それまでの子飼界限には電停の前に映画館・パチンコ店又浄行寺電停のそばにも映画館等があり、子飼商店街・三軒町商店街・立町商店街と賑わいがありました、昭和60年には東バイパスが開通し国道57号は移り現在の県道337号になり現在に至っております、車社会の道路政策により子飼そして浄行寺の交差点は通過点となり商業地区としては残念ながら商店街の方々は苦勞をされています。

子飼交差点は昭和43年に当時の県警交通企画課の方の発案にて策定・運用が開始されました、現在“スクランブル交差点”と言えば一番有名なのは、東京渋谷のスクランブル交差点です、外国からの見物客が訪れるほどです、我が子飼スクランブル交差点と大きな違いが有ります、渋谷は五叉路交差点、子飼も五叉路の交差点と同じですが、黒髪・大江地区共に文教地区にて車の往来に加えて自転車部隊も朝晩の通勤・通学の時間帯は歩行者との交差に大変注意が必要です、交通安全週間のキャンペーン期間には特に自転車利用の方々には安全のために横断中は押し歩きをお願いの声かけをして注意を喚起しています、渋谷との大きな違いは、渋谷はほとんど見かけない、自転車通行者が子飼では時間帯によりますが歩行者より自転車通行者が多いことです、交通の要所で有る“子飼スクランブル交差点”をご利用される皆様にはお願いです、自転車は押し歩きにて横断をお願い致します。

# 子飼スクランブル交差点記念碑

◆スクランブル交差点 発祥の地

◆令和六年四月一日（二〇二四年）建立  
黒髪・碩台校区自治協議会

◆日本に初めてスクランブル交差点の仕組みが導入されたのは、実は子飼交差点で昭和四十三（一九六八）年十二月のことである。当時、旧国道五七号線にある子飼交差点の近くには、熊本市電・黒髪線の終点停留所があり、また交差点の奥には子飼商店街があり、買い物の客や電車の人で溢れかえる状態で、いつ事故が起きてもおかしくない状況であったのを見かねた当時の熊本県警察本部交通企画課の岡本文雄氏が導入を決めたものである。

鈴木康夫氏監修の「意外と知らない熊本県の歴史を読み解く。熊本『地理・地名・地図』の謎」から抜粋

上記の内容が記念碑に刻まれています

